



いのちの教育

— 滝沢小学校「いのちの教育」推進計画に沿って実施した復興教育実施事例紹介 —

教育的価値	具体の項目	教育課程
<p><b>第1学年</b> 1【生きる】</p>	<p>②【自然との共存】 自然の恵みや美しさに感動する心と畏敬の念をもち、自然と共に生きることについて考える。</p>	<p>教科（生活）</p>
<p>【題材】 草花学習 「おおきくなあれ」 はなのようすをみよう 【実践の概要・詳細】</p> <p>(1) 目 標 身の回りにある草花の観察や遊びをとおして自然のすばらしさに気づき、自然を大切にしたり自分たちの遊びや生活を工夫したりする。</p> <p>(2) 外部講師 岩手大学教育学部非常勤講師 吉田智子氏</p> <p>(3) 主な活動 ア 草花観察 草花遊び（草花人形、葛蔓綱引き、トチの実拾い等） 虫取り イ 玉ねぎの皮染め（ガーゼハンカチ）</p>		
教育的価値	具体の項目	教育課程
<p><b>第2学年</b> 1【生きる】</p>	<p>①【かけがえのない生命】 全ての生命は、かけがえのないものであることを実感し、大切にする。</p>	<p>教科（国語）</p>
<p>【題材】 読んだお話をしようかいしよう「スーホの白い馬」（発展学習） 【実践の概要・詳細】</p> <p>(1) 目 標 国語の発展学習として、楽器「馬頭琴」に込められたモンゴルの人々の願いや暮らしの様子を理解する。</p> <p>(2) 外部講師 武田登子氏</p> <p>(3) 主な活動 ア 馬頭琴演奏の鑑賞 イ モンゴルの衣装・道具・遊び体験</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>児童の感想</b> わたしは、毎日、どうぶつのいのちを食べています。ごはんを食べるとき「いただきます。」と言い、食べおわると「ごちそうさまでした。」と言います。食事は、のこさず食べたいと思います。いのちは1つだからです。わたしのいのちも友だちのいのちも1つです。とても大切にします。</p> </div>		
教育的価値	具体の項目	教育課程
<p><b>第3学年</b> 2【かかわる】</p>	<p>⑨【仲間や地域の人々とのつながり】 幼児や高齢者の人々等と一緒に生活している地域社会において、互いに支え合う仲間の大切さや地域のありがたさを実感する。</p>	<p>道 徳</p>
<p>【題材】 「人けん」ってなんだろう 「山なし狩り」 【実践の概要・詳細】</p> <p>(1) 目 標 人間は誰にでも楽しく暮らす権利（人権）があることを理解する。</p> <p>(2) 外部講師 滝沢村人権委員</p> <p>(3) 主な活動 ア 紙芝居「山なし狩り」 イ 人権カルタ</p>		<p style="text-align: center;"><b>人権カルタ</b></p> <p><b>いのち</b>とは いちばんたいせつ たからもの <b>しんぱい</b>は だれかにはなせば かるくなる <b>せい</b>くらべ ひとりひとりがちがって あたりまえ <b>なか</b>またち ひとりひとりに こせいがあるよ <b>はず</b>れっこ きがついたときは なままにいて <b>む</b>ししたり なかまはずれは いじめだよ</p>

教育的価値	具体の項目	教育課程
<b>第4学年</b> 2【かかわる】	<b>⑨【仲間や地域の人々とのつながり】</b> 幼児や高齢者の人々等と一緒に生活している地域社会において、互いに支え合う仲間の大切さや地域のありがたさを実感する。	総合的な学習の時間
<b>【題材】</b> 「キャップハンディについて考えよう」 <b>【実践の概要・詳細】</b> (1) 目 標 国語の点字にかかわる学習を契機に、福祉に興味を広げ、キャップハンディ体験を行い、そこから生まれた考えや思いをいろいろな方法でまとめたり伝えたりする。 (2) 外部講師 滝沢村福祉協議会 滝沢村福祉ボランティア (3) 主な活動 ア インターネット 図書資料による調査 イ 点字教室 手話教室 白杖体験 車イス体験 ウ まとめ発表 福祉作文		
教育的価値	具体の項目	教育課程
<b>第5学年</b> 3【そなえる】	<b>⑩【自然災害発生のメカニズム】</b> <b>⑪【自然災害の歴史】</b> 自然災害が発生するメカニズムやそれぞれの災害について理解する。過去に起きた自然災害や自然災害と共存してきた人々の努力や工夫などについて調べ、防災・減災について理解するとともに、次の世代へ語り継いでいく。	総合的な学習の時間
<b>【題材】</b> 郷土を探ろう～伝統・自然・岩手山～ 「岩手山についてしらべよう」 <b>【実践の概要・詳細】</b> (1) 目 標 岩手山形成の仕組みや自然環境、歴史を調べ、自分たちが暮らす地域の特徴を理解する。岩手山で火山災害が発生した場合の危険や避難の仕方や備え等を理解する。 (2) 見学場所 イーハトープ火山局 岩手山焼走り溶岩流 (3) 主な活動 ア イーハトープ火山局見学 岩手山焼走り溶岩流見学 イ インターネット・図書資料による調査 ウ まとめ 発表会		
教育的価値	具体の項目	教育課程
<b>第6学年</b> 3【そなえる】	<b>⑫【東日本大震災津波の様子と被害の状況】</b> 平成23年3月11日に発生した、東日本大震災津波の様子と被害の状況について理解する。	総合的な学習の時間 特別活動
<b>【題材】</b> 郷土を広い目でみつめよう～歴史・文化・震災～ <b>【実践の概要・詳細】</b> (1) 目 標 被災地見学を通して被災地の現状を知るとともに、被災者に寄り添う気持ちを育て自分達にできることを考える。 (2) 見学場所 東松島野蒜地区（修学旅行） (3) 主な活動 ア 被災地見学 ボランティアガイド講話 イ インターネット・図書資料による調査 ウ まとめ 発表会 エ ※児童会（大槌町の小学校との交流）		
<b>被災地を見学した児童の感想</b> 私は、災害を受けた人はどうして明るく生きていけるのかとても不思議に思いました。もし私がお場にいたら、絶対に立ち上がれず、ずっと暗く生きていくと思います。今でも災害を受けた人の心の傷は治っていません。でも、つらい過去があっても今前向きに生きている人、それこそが美しいすばらしいものだと思います。被災地を見学して、改めて命の大切さが分かりました。		